



英語。そのため、ときどき返せない時もあった困ったけれど、そんな時には、家族たちは辞典を引いてくれました。温かい家族に恵まれて良かったです。

(塩津中 明石真典)

新しい友との出会いに感激

ブラックバーン校、そこには日本では体験できない学校生活がありました。特に、心に残り、嬉しかったことは、新しい友達ができたことです。英語ばかりの中で、何も話すことができなかった私に、みんなから声をかけてくれました。なかでも、私のホストスチューデントは、「あなたは、最高の友達」と言ってくれました。国境を越えてきた私の友達は、心が温かく明るい人たちばかりです。

(蒲郡中 小田りえ)

ブラックバーン校の子は、みんなフレンドリーで私たちに明るくあいさつをしてくれました。中には日本語を使って会話しようとしてチャレンジする子もいました。授業も日本より自由で、音楽では、自分の好きな楽器を弾いていたので、私もピアノを弾きました。

このスタディツアーを通して、

将来英語に携わる職業に就く夢を見つけることができました。

(三谷中 杉本詠美)

私は、このスタディ・ツアーを通して、いろいろな面で成長することができました。

一番心に残ったのは、ブラックバーン校の生徒たちみんなが、すぐに声をかけ、笑顔で接してくれたことです。そして、みんな明るく、楽しませてくれました。おかげで、私も英単語を並べながら、どんどん話しかけていくことができました。このツアーに参加して、本当に良かったと思います。

(西浦中 小川実優)

心が通じたサンキユウパーティー

私がホストファミリーたちと心が一つになれたと一番感じたのは、サンキユウパーティーの時でした。パーティーでの出し物を通して、ホストファミリーたちと共に笑い合うことができ、完璧な英語でなくてもわかり合えるということをもつて体験しました。

特に、両国の民謡であるソーラン節とマチルダを一緒に踊ったときは、国境と言葉の壁を越えた瞬間でした。オーストラリアの人

と英語が大好きになりました。

(大塚中 宮澤佳子)

僕が、一番印象に残ったことは、サンキユウパーティーで僕が日本の音楽を演奏したこと。演奏では、出発前に何回もメンバーと一緒に練習してきたことが出せ、とてもよかったです。向こうの人たちも、「花」や「少年時代」などの曲を気に入ってくれました。僕は音楽って、本当に国境がないなあと思いました。僕にとって、このツアーはとても貴重な体験になりました。

(大塚中 岡田大智)

心地よいカルチャーショック

このツアーに参加するにあたり、オーストラリアと日本の文化の違いを見つけること、英語を上達させることを目標にしました。

前者は、ホストファミリーとの生活の中で見つけ、そして、日本の文化を伝えることができました。後者も、機内で外国の人と友達になれたので、とても自信ができました。さらに、現地での人々との触れ合いを通して、私の視野が広がりました。

(塩津中 長嶋 愛)

surprise country

僕が一番心に残ったのは、日本との文化の違いです。例えば、床に食べ物や置く、トイレとシャワーが同じ部屋にあるなどです。同じ地球で、ここまで違うなんて驚きです。学校も「放課中におやつを食べられる」など、ものすごく自由でした。この体験で、オーストラリアの良さを知るとともに、日本の良さを伝えることができました。中部中学校のみんなにも、このカルチャーショックを味わって欲しいです。

(中部中 深谷享平)



ツアーの全行程を通じて、オーストラリアの人々の温かさや思いやりにふれた生徒たちは、一回り大きく成長することができました。